

第72回福島大学経営協議会議事要録

1. 日 時 平成28年3月15日（火）15時00分～17時10分

2. 場 所 ホテル福島グリーンパレス 孔雀の間

3. 出席者

【学外委員】阿部正、清水潔、杉原陸夫、田原博人、富田孝志、林由美子、
山崎捷子、渡邊博美

【学内委員】中井勝己、功刀俊洋、三浦浩喜、神子博昭、青柳隆夫、
千葉養伍、久我和巳、真田哲也、二見亮弘、
中村信一

〔オブザーバー〕 副学長：千葉悦子、小沢喜仁

監 事：平山健一、高橋宏和

4. 欠席者

【学外委員】菅野典雄、近藤貴幸、八島洋一

5. 議 事

【審議事項】

- (1) 「国立大学法人福島大学中期計画案」別紙について
- (2) 平成28年度国立大学法人福島大学年度計画について
- (3) 教職大学院人間発達文化研究科（教職実践専攻）の設置について
- (4) 役員の業績評価について
- (5) 役員給与規則の一部改正について
- (6) 附属学校園教員等に係る給与の見直しについて
- (7) 就業規則の改正等について
- (8) 平成28年度予算分配額（案）について
- (9) 福島大学アドミッションセンターの設置について
- (10) 会計関係規則の一部改正について

【報告事項】

- (1) 平成28年度一般入試等の確定志願者数について
- (2) その他
 - ・平成28年度経営協議会予定について

議事に先立ち、中井学長から、挨拶があった。

【確認事項】

第71回経営協議会議事要録を原案のとおり確認した。

【審議事項】

(1) 「国立大学法人福島大学中期計画案」別紙について

中井学長から、資料1に基づき、1月5日に書面審査において審議した中期計画案（別紙を除く）についての「別紙」について提案があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

(2) 平成28年度国立大学法人福島大学年度計画について

中井学長から、資料2に基づき、平成28年度国立大学法人福島大学年度計画について中期計画に基づく「年度計画」について提案があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

(以下、◇はその議題に関する学外委員からの質問・意見、◆は大学側の回答等を表す。)

◇中期目標、中期計画に基づく年度計画を進めるための議論より、できることは前倒して実行していくことがいいだろう。また年度計画の内容だけでは事業の質が見えないので、質の充実した事業を展開してほしい。

◆計画を先取りして実行していき、そのフィードバックを心掛けたい。また質の問題は文科省からも言われていることではあるが、認証評価で受けた指摘等を見える形で示していけるようにしたい。

(3) 教職大学院人間発達文化研究科（教職実践専攻）の設置について

中井学長から、資料3に基づき、平成29年度に設置する教職大学院の基本構想等について提案があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

◇今般子どもを巡る社会環境の変化が大きく、従来の学校教育では社会の変化に対応できていない状況である。従来の教育学部と違人間発達文化学類の長所を生かした、これからの教育のあり方を実践的に研究し、新しい教育のモデルを示すような教職大学院を作ってほしい。各教育行政機関の期待は大きいと考える。

◆現場の目の前の課題に取り組むことも大事な力だが、教職大学院においてこれからの教育の先を見据え、どう生かしていくのか考えていきたい。

◇教職大学院の中には3コースあるが定員はどうか。また実習、長期インターンシップ等の履修スケジュールはどのように予定しているのか。

◆コースに定員はなく、入学者の課題に沿って決めていくようになっている。

◆長期インターンシップは1年間を予定している。初めにどこの学校に行くかマッチングをし、どういう入り方、かかわり方をしていくのか決める。週2回ほど度、1日4時間を想定しており、教員の総体を学ぶことを目的としている。

◇他大学とは違う福島大学らしい特色を出してほしい。教育現場は社会に閉じている傾向がある。もっと多様性の中で育てるといったことが求められるだろう。実務家教員と連携し、表面的な現象の奥に潜む本質的な課題を見つけ研究していくことが重要である。

◆実務と研究の連携について、学校の教員と大学の教員がペアとなり動くようにし、関係が乖離しないようにしている。

◇教育に関する研究を見てみると、理論に引きずられているか、現場に突っ込みすぎているかの両極端になっていることが多いように思う。各大学での実勢を見て、バランスの取れたものを作ってほしい。

◇専任教員に特任教授が多いが何か理由があるのか。

◆教員としての現場経験、学校経営・運営経験のある教員を各教科ごとにそろえるようにした。

(4) 役員の業績評価について

中井学長から、資料4に基づき、学長が行う役員の評価結果をもとに、役員の業績評価について提案があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

(5) 役員給与規則の一部改正について

功刀理事から、資料5に基づき、役員給与規則の一部改正について提案があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

(6) 附属学校園教員等に係る給与の見直しについて

功刀理事から、資料6に基づき、福島県教育委員会と本学との本給表の違いにより、附属学校園教員等の給与格差が拡大しているため、県教委に準拠した俸給表を適用するなどの給与見直しについて提案があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

(7) 就業規則の改正等について

功刀理事から、資料7に基づき、就業規則の改正等について提案があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

(8) 平成28年度予算配分額(案)について

功刀理事から、資料8に基づき、平成28年度予算配分額(案)について提案があった。

また中村事務局長から、文科省から発表のあった平成28年度機能強化経費「機能強化促進分」における評価結果の考え方及び本学の評価について報告があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

◇地域貢献型の大学は、大学だけが頑張っても限界がある。特に予算面において地域企業や自治体とのつながりが重要であるが、それだけでなく協力体制を強化していくかが重要であるだろう。

◆現在COC+事業などにおいて福島県と地元の4大学・高専とともに若者の地域定着に向けた取り組みを始めている。それらの関係を有効に活用し、今後生かしていきたい。

◆福島大学のこれまでの地域貢献を自治体や地元企業にアピールし、財政的支援を得られるように示していきたい。またお互いに考えを出し合って科研費等の経費を得ていきたい。

(9) 福島大学アドミッションセンターの設置について

三浦理事から、資料9に基づき、アドミッションセンターを4月に設置するこ

と及びそれに伴う学則改正、センター規則及び運営会議規程の制定について提案があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

◇大学説明会に高校生を呼ぶことに多くの大学が苦勞していると聞く。高校生だけを対象とするのではなく、もっと対象範囲を広げてみてはどうか。中学生、小学生に大学で勉強することの必要性を知ってもらい、早くから大学に興味を持ってもらうような取り組みも考えてみてはどうか。

(10) 会計関係規則の一部改正について

功刀理事から、資料10に基づき、アドミッションセンター設置に伴う改正及び「独立行政法人通則法の一部改正及びそれに伴う国立大学法人法」の一部改正による「監査報告及び会計監査報告」の改正について提案があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

【報告事項】

(1) 平成28年度一般入試等の確定志願者数について

三浦理事から、資料11に基づき、平成28年度一般入試等の確定志願者数について報告があった。

(2) その他

・平成28年度経営協議会予定について

南役員室長から、資料12に基づき、平成28年度経営協議会予定について報告があった。

・今年度退任となる委員挨拶

中井学長から、今年度退任となる学外委員、学内委員の報告があった。委員から一言ずつ挨拶いただいた。